

「菱田小学校の銭太鼓伝承活動の取組」

1 学校名

大崎町立菱田小学校

2 学年・人数

1年生から6年生（計55人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和5年7月～9月 総合的な学習の時間（菱田農村改善センター）
令和5年8月19日（土）発表リハーサル（菱田農村改善センター）

(2) 発表の日時・場所

令和5年8月20日（日）菱田ふれあい夏祭り（菱田農村改善センター）
令和5年10月1日（日）小学校秋季大運動会（菱田小グラウンド）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

銭太鼓（ぜにだいこ）

(2) 由来

菱田校区の東新町、西新町の方々が受け継いできた伝統芸能

(3) 構成等

ニヤ板に座り、ソーラン節等の曲に合わせて、銭を入れたバチを回したり、バチを板にたたきつけたりしながら踊る。曲によって、踊りを変え、本番は法被を着て踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

令和2年度から学校の教育活動の中に位置付け、銭太鼓の伝承を行うこととした。銭太鼓を受け継いできた地域の方に演舞の指導をお願いし、令和2年度は学習発表会で6年生が発表した。令和3年度からは、秋季大運動会での高学年の表現として、発表することができた。新型コロナウイルス感染症の影響で運動会が縮小される中、銭太鼓を愛する地域の方々や子どもたちの思いや願いを途切れることなく発表することができた。これからも、秋季大運動会を発表の場の中心として学校教育活動に位置付けていく。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながら銭太鼓を継承していくために、学校運営協議会とも連携を図り、今後も継続して銭太鼓を伝承していける体制を整えた。令和5年度から地域の祭りでも、発表の場を設定している。また、本校は、令和6年度に創立150周年を迎える。その記念式典でこれまで受け継いできた児童生徒（小5～高2）が集い、銭太鼓のアトラクションを実施する予定である。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



練習の様子



運動会での披露



菱田ふれあい夏祭りでの発表後

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【6年生児童】

銭太鼓を教えていただきありがとうございました。お父さんやお母さん、お兄さん，先生方の前で教えていただいたことを発揮できてうれしかったです。伝統的な銭太鼓を経験できてとても誇らしい気持ちになりました。これからも銭太鼓を大好きでいたいです。

【教職員】

令和5年度の練習は体育館が使用できず，小学校から離れた菱田農村改善センターで行った。体育及び総合的な学習の時間の授業で熱心に取り組んだ。練習では地域の方々に指導に来ていただき，とてもありがたかった。また，保護者もとても協力的であり，準備段階で行った「バチづくり」では，たくさんの保護者や親父の会のメンバーが参加して下さった。秋季大運動会はもちろん，様々な場や機会での発表の場がもてたらと願う。運動会では，地域の方々から銭太鼓の演舞を注目されるようになっている。

【保存会から】

毎年，子どもたちと銭太鼓に取り組むことで，学校が地域とつながっていることを実感している。今後も，子どもたちが菱田に誇りを持ち，継承できるように関わりたいと思います。

【地域の方から】

- 子どもたちが暑い中，真剣な表情で，演舞する姿に元気をもらった。子どもたちが，また，大人になって，次の世代に伝えていくきっかけにしてほしい。
- 大崎に住んでいたが，初めて銭太鼓を見ることができた。このような伝統は，是非子どもたちに伝承してほしい。